

信濃川の水上交通を通勤・通学などに利用するための実証実験の概要 (平成 16 年 9 月 1 日 ~ 30 日)

背景

新潟市内中心部においては、特にマイカーによる朝夕の混雑状況は顕著であり、マイカー依存から公共交通機関への利用転換を図ることによって、市内の道路混雑の解消やCO2 排出量削減による環境問題への対応が求められていた。



新潟市内への道路交通の結節点にある「新潟ふるさと村」などの駐車場を活用して、パークアンドボードを実施することをめざし、現在就航している「新潟ふるさと村」と中心市街地を經由し「朱鷺メッセ」までを結ぶ旅客定期航路の利便性を向上することにより、マイカーから公共交通機関としての同旅客船への利用転換を図り、交通渋滞の解消やCO2 排出量の削減を目指した。

実験の概要

- 〔実施主体〕 信濃川ウォーターシャトル株式会社
- 〔実験を行う交通機関〕
 - アナスタシア号 旅客定員108名(自転車積載可)
 - ペアトリス号 旅客定員100名(自転車積載可)
- 〔実験航路〕
 - 信濃川下流一般定期旅客航路
 - (運航区間) 新潟ふるさと村～県庁前～白山
～万代橋西詰～朱鷺メッセ
- 〔実験運航期間〕
 - 平成 16 年 9 月 1 日 ~ 30 日(土曜、日曜、祝日を除く)
- 〔運航ダイヤ〕



朝の通勤時間帯(7時~9時)に上下4便、及び夜間(17時以降)に上下3便を「新潟ふるさと村」と「朱鷺メッセ」の間に運航

下り	ふるさと村	7:30	7:50	17:30	18:15
	県庁前	7:48	8:08	17:48	18:33
	白山	8:01	8:21	18:01	18:46
	万代橋西詰	8:13	8:33	18:13	18:58
	朱鷺メッセ	8:21	8:41	18:21	19:06



上り	朱鷺メッセ		8:25	17:13	
	万代橋西詰	6:56	8:33	17:21	
	白山	7:08	8:45	17:33	
	県庁前	7:20	8:57	17:45	
	ふるさと村	7:45	9:22	18:10	

〔運賃料金〕

発着船着場	朱鷺メッセ			
万代橋西詰	¥250(150)	万代橋西詰		
白山	¥300(180)	¥200(120)	白山	
県庁前	¥400(240)	¥300(180)	¥200(120)	県庁前
ふるさと村	¥750(450)	¥550(330)	¥450(270)	¥350(250)

括弧内は割引(40%)後の運賃

実験の成果

〔利用実績〕 合計利用人数は延べ515人(括弧内はモニター客で内数) 自転車航送台数 60台

発着船着場	朱鷺メッセ			
万代橋西詰	13(0)	万代橋西詰		
白山	16(8)	1(0)	白山	
県庁前	31(7)	34(26)	51(48)	県庁前
ふるさと村	82(51)	87(46)	80(75)	120(85)

実験後の状況

- ・ 水上バスを通勤・通学の足として利用されるためには、舟運事業を実施している他社との連携による運航本数の増加等の運航体制の確立といった課題があり、本格運航には至っていない。
- ・ 継続的な社会実験の実施が必要と考えられるが、財政的な支援も含めた関係者間での運航継続のあり方を検討する必要がある。